



2011 年度 河川技術に関するシンポジウム—新しい河川整備・管理の理念と  
それを支援する河川技術に関するシンポジウム— プログラム

(7月23日～24日、東京大学農学部弥生講堂)

7月23日(土)	第1日目	開催場所:
08:30-	受付 (ポスターセッション1 設営準備)	
09:30-09:40	開会の挨拶 (河川部会部会長 藤田 光一)	一条ホール
09:40-11:10	<u>ポスターセッション1 (PS1)</u> ※発表方法については p. 4 を御覧ください	エントランスホール
11:20-12:30	<u>オーガナイズドポスターセッション1 (OPS1)</u> 「気候変動・社会条件の変化に適応した減災技術」 企画・進行: 流域減災とアダプテーション WG	一条ホール
12:30-13:30	昼食 (ポスターセッション2 設営準備)	
13:30-15:00	<u>ポスターセッション2 (PS2)</u> ※発表方法については p. 6 を御覧ください	エントランスホール
15:10-16:10	<u>オーガナイズドポスターセッション2 (OPS2)</u> 「治水・環境の点からみた河道のあり方」 企画・進行: 河道環境・空間創出・制御技術 WG	一条ホール
16:15-18:05	<u>オーガナイズドセッション (OS)</u> 「河道設計技術」 オーガナイザー: 泉典洋、知花武佳 ・趣旨説明 ・口頭発表 (5 編) ・オーガナイズドセッション全体討議	一条ホール
18:20-	交流会	交流会会場
7月24日(日)	第2日目	
08:30-	受付 (ポスターセッション3 設営準備)	
09:30-11:00	<u>ポスターセッション3 (PS3)</u> ※発表方法については p. 8 を御覧ください	エントランスホール
11:10-12:20	<u>オーガナイズドポスターセッション3 (OPS3)</u> 「堤防の安全性に関する技術の課題」 企画・進行: 堤防等河川構造物 WG	一条ホール
12:20-13:20	昼食	
13:20-15:20	<u>東日本大震災津波災害特別セッション</u> 「今次津波災害と河川技術」 オーガナイザー: 藤田光一 ・趣旨説明 ・話題提供 (佐藤慎司 (東京大学大学院教授)) ・話題提供 (田中 仁 (東北大学大学院教授)) ・話題提供 (国土交通省東北地方整備局、国土技術政策総合研究所) ・特別セッション全体討議	一条ホール
15:25-16:55	<u>全体討議等</u> (河川部会副部会長 泉 典洋) ・河川部会会則等の制定について ・各オーガナイズドポスターセッションの報告と議論 ・河川技術に関するシンポジウムの進め方に関する総括討議 ・優秀発表者賞の発表 ・閉会の挨拶	一条ホール

## オーガナイズドセッション（OS） ～河道設計技術～

河道設計は、河川技術の中でも最もオーソドックスな分野の1つですが、自然条件や社会条件の変化を背景に河道の流下能力向上への依存度が高まり、管理まで含めた合理的な河道維持管理が重要となる中で、いま新たな発展が強く求められています。また、多自然川づくりの推進・定着の一環として検討された「中小河川に関する河道計画の技術基準」の中では、川固有の営みを生かすような河岸・水際部、ひいては河道の設計こそが本質的に重要であることが明確に打ち出されており、現場でも定規断面ではない掘削方法が実践されつつあります。さらに、河道とそこで展開される生物活動との関係に関する知見や技術の蓄積が進み、治水と環境を一体的に考えることが可能となったばかりでなく、いまや前提条件ともなりつつあります。

特定課題を取り上げるこのオーガナイズドセッションでは、「自然再生にみる治水と河道管理にみる自然」をテーマに関連する論文を広く取り上げた PS2 および OPS2 での議論を、さらに具体的な議論へと発展させるため、現場で行われている実際の河道設計例を取り上げ、河道設計を行う際の工夫や考え方等についての具体的な情報を共有すると同時に、河道設計を行う際に重要となる

- 低水路の広げ方や高水敷の切り下げ方は？掘削の際の横断形状の設定法とは？
- 河道掘削と樹木管理をどう組み合わせるか？
- 河道掘削によって生じる物理環境の予測と評価はどのようにすればよいのか？
- 過去の人為的、自然的インパクトへの河道応答に対する理解を河道設計にどう生かすか？
- 施工後の維持管理対応はどのように行っていくのか？
- 洪水時の河床変化を設計にどのように取り込むか？
- 局所的措置の積み重ねで良いのか？全体的な河道設計方針はどのように立てるのか？
- 川はどこまで掘って良いのか？への答えはあるか？

といった具体的な問に対する答を探り、よりよい河道設計について考えます。

オーガナイザー：泉典洋、知花武佳

日 時：2011 年 7 月 23 日（土） 16:15～18:05

### プログラム：

- ・趣旨説明
- ・阿賀川における樹木管理と礫河原の再生について  
 ……………前国土交通省北陸地方整備局阿賀川河川事務所 池田和也
- ・江の川上流部における治水と環境の調和した河道断面形に関する評価  
 ……………国土交通省中国地方整備局岡山河川事務所百間川出張所 大賀祥一
- ・神流川における外来樹木種対策を組み込んだ河道整備  
 ……………(財)河川環境管理財団河川環境総合研究所研究第三部 鈴木克尚
- ・固定化砂州での掘削路開削による洪水攪乱の誘発と樹林化抑制対策に関する研究（その2）  
 ……………パシフィックコンサルタンツ(株)河川部 松田浩一
- ・太田川放水路を事例とした河口干潟の設計・管理方法の枠組みに関する研究  
 ……………国土交通省国土技術政策総合研究所環境研究部河川環境研究室 大沼克弘
- ・オーガナイズドセッション全体討議

以上

## 東日本大震災津波災害特別セッション ～今次津波災害と河川技術～

東日本大震災の発生を踏まえ、急遽、この特別セッションを企画しました。

この中では、土木学会東日本大震災特別委員会 津波特定テーマ委員会を代表して、東京大学 佐藤慎司教授から津波被害を主対象にした話題提供を、水工学委員会東北関東大震災調査団長 東北大学 田中仁教授より、河川の視点から津波被害について話題提供を、災害の現場の諸状況について国土交通省東北地方整備局河川部等よりお話しをいただき、これらを踏まえ、「河川技術として考えるべきこと」を軸に、議論を展開していきます。

オーガナイザー：藤田光一

日 時：2011 年 7 月 24 日（日） 13：20～15：20

### プログラム：

・趣旨説明

・話題提供

2011 年東北地方太平洋沖地震津波の河口低平地における氾濫

.....東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻 教授 佐藤慎司

河川遡上津波による被害の特徴

.....東北大学大学院工学研究科土木工学専攻 教授 田中 仁

東日本大震災における現場の取り組み

.....国土交通省東北地方整備局河川部河川計画課 課長 舩田直樹

今次津波災害に見る河川技術上の課題

.....国土交通省国土技術政策総合研究所河川研究部河川研究室 室長 服部 敦

・特別セッション全体討議

以上

## ポスターセッション1 (PS1) / オーガナイズドポスターセッション1 (OPS1)

日 時：2011年7月23日(土)

9：40～11：10・・・ポスターセッション1 (以下、PS1)

11：20～12：30・・・オーガナイズドポスターセッション1 (以下、OPS1)

テ ー マ：「気候変動・社会条件の変化に適応した減災技術」

企画・進行：流域減災とアダプテーションWG

「OPS1」では、PS1の発表内容から、共通して議論できる・すべき上記テーマを設定し、関係するPS発表者とOPSオーガナイザーが、発表論文等をベースに、当該分野の研究状況、今後の発展の方向について意見・情報交換を行います。PS1の発表論文の中で、本OPSでの議論の対象になりうると想定した論文等の一覧は、下記「OPS1対象予定」欄に※印を付けています(選択は本OPSのテーマに関係するかどうかという観点から行っており、論文等の質とは関係ありません)。

なお、発表論文等タイトルに付けられた番号は、ポスター掲示用パネル番号と対応しています。

## 発表方法に関する注意事項

以下に示す時間帯は、必ずポスターの説明を行ってください。それ以外の時間については、ご自身のポスターを説明されるか、他の発表者との意見交換に活用されるかを自由に選択することができます。

- ・ 奇数番号の論文等発表者・・・前半60分(9：40～10：40)
- ・ 偶数番号の論文等発表者・・・後半60分(10：10～11：10)

PS1 発表論文等タイトル及び発表者所属・氏名	OPS1 対象予定	論文集 目次分類	論文集 ページ
1) X-band MP レーダー情報を用いた C-band レーダー降水強度の改善手法の開発 (独) 土木研究所水災害リスクマネジメント国際センター 牛山朋来		現場計測・調査・モニタリング	11
2) ダムからの排砂と土砂マネジメントによる河川管理の事業評価 一矢作川におけるダムから海岸に至る総合土砂管理の最適化と費用便益評価一 (株) 建設環境研究所 富田邦裕		流砂系管理	53
3) 分布型降雨土砂流出モデルを用いた流域規模の土砂生産・移動特性に関する研究 (株) 建設技術研究所九州支社 小澤和也		流砂系管理	59
4) 構成地質の異なる流域から産出される河床材料の摩耗・破碎とそれが流下に伴う細粒化に及ぼす影響 (株) 建設技術研究所 五島暢太		流砂系管理	65
5) 北海道内河川におけるヤナギ種子の流量と時期的な変化 (独) 土木研究所寒地土木研究所 林田寿文		河川植生管理	215
6) 分布物理型モデルを用いた霞ヶ浦における水循環と溶存態窒素の挙動解析 東京工業大学大学院総合理工学研究科 リーブーンホン		水環境改善/流域物質循環管理	245
7) 河川水質の連続時系列推定値に基づく霞ヶ浦流域からの流出負荷量の特性分析 東京工業大学総合理工学研究科 黎嘉韻		水環境改善/流域物質循環管理	251
8) 気候変動下における積雪地域の利水への影響を踏まえたダム管理のあり方について 室蘭工業大学大学院工学研究科 川村一人		構造物設計・管理/ダム操作法	287
9) 2010年2月に渚滑川で発生したアイスジャムに関する研究 (独) 土木研究所寒地土木研究所寒地河川チーム 吉川泰弘		洪水・津波・河水等の水理制御	353
10) 波状性津波による河道内の氷板輸送に関する研究 (独) 土木研究所寒地土木研究所 阿部孝章		洪水・津波・河水等の水理制御	359

PS1 発表論文等タイトル及び発表者所属・氏名	OPS1 対象予定	論文集 目次分類	論文集 ページ
11) 天塩川における河川解氷時の河水の挙動に関する現地観測 (株)福田水文センター 橋場雅弘		洪水・津波・河水等の水理制御	365
12) 遊水地による津波の河川遡上低減効果に関する水理実験 (独)土木研究所寒地土木研究所水環境保全チーム 矢野雅昭		洪水・津波・河水等の水理制御	371
13) ストレス指標を用いた水辺環境評価手法の開発 芝浦工業大学工学部 菅和利		環境評価/環境施策評価	377
14) 唾液アミラーゼ活性を指標とした河川・湖沼のストレス軽減効果把握 の試み 東京理科大学理工学部 二瓶泰雄		環境評価/環境施策評価	383
15) 学校での河川学習の効果と河川教育プログラムに関する研究 国土交通省国土技術政策総合研究所環境研究部 伊藤嘉奈子		環境評価/環境施策評価	389
16) 破堤氾濫の危険度評価と減災対策に関する一考察 滋賀県土木交通部流域政策局 瀧健太郎	※	治水・減災技術施策/水害リスク	407
17) 猪名川浸水情報システムによる地域防災情報の共有 八千代エンジニアリング(株) 竹村仁志		治水・減災技術施策/水害リスク	413
18) 都賀川における水難事故防止対策の効果と今後の課題 兵庫県神戸県民局神戸土木事務所 高田奈緒		治水・減災技術施策/水害リスク	419
19) 河川仮締め切り工の越水管理を目的とした石狩川流域におけるリアルタイムレーダ雨量データ等を用いた出水予測警報システムの開発 と現地検証 大成建設(株)技術センター 石野和男	※	治水・減災技術施策/水害リスク	425
20) 平成21年8月兵庫県佐用町河川災害における氾濫解析と避難行動判断 断基準に関する研究 神戸大学大学院工学研究科 伊藤崇博	※	治水・減災技術施策/水害リスク	431
21) 気候変化を踏まえた治水計画のあり方に関する研究 (財)国土技術研究センター河川政策グループ 岡安徹也		治水・減災技術施策/水害リスク	437
22) 水害リスク評価手法に関する研究 (財)国土技術研究センター河川政策グループ 田村善昭		治水・減災技術施策/水害リスク	443
23) 都市河川内水域における短時間局地的豪雨に対応した瞬時浸水予測 手法の開発 (株)日水コン中央研究所 木村誠		治水・減災技術施策/水害リスク	455
24) 冠水時の自動車通行の危険性に関する研究 九州大学大学院工学部 大島崇史		治水・減災技術施策/水害リスク	461
25) 伊勢湾ゼロメートル地帯の高潮洪水危機管理枠組みの検証—机上訓練 と2009年台風18号、ハリケーン Gustav の検証から— 名古屋大学大学院 辻本哲郎	※	治水・減災技術施策/水害リスク	467
26) 2010年10月奄美大島豪雨時の住用川流域の洪水と住民行動に関する 調査 九州大学大学院 田井明		治水・減災技術施策/水害リスク	473
27) 河川水辺の国勢調査結果を利用した魚類および底生動物の水温・水質 への依存性評価 国土交通省国土技術政策総合研究所環境研究部 天野邦彦		自然環境保全・再生手法	513
28) 投入土砂流下に伴う水生生物の応答及び景観向上効果 福岡大学工学部 皆川朋子		自然環境保全・再生手法	523
29) 住民参加の川づくりにおける合意形成手法に関する経験的考察 九州大学大学院環境都市部門 林博徳		事業効果/マネジメント	535

## ポスターセッション2 (PS2) / オーガナイズドポスターセッション2 (OPS2)

日 時：2011 年 7 月 23 日 (土)

13：30～15：00・・・ポスターセッション2 (以下、PS2)

15：10～16：10・・・オーガナイズドポスターセッション2 (以下、OPS2)

テ ー マ：「治水・環境の点からみた河道のあり方」

企画・進行：河道環境・空間創出・制御技術 WG

「OPS2」では、PS2 の発表内容から、共通して議論できる・すべき上記テーマを設定し、関係する PS 発表者と OPS オーガナイザーが、発表論文等をベースに、当該分野の研究状況、今後の発展の方向について意見・情報交換を行います。PS2 の発表論文の中で、本 OPS での議論の対象になりうると想定した論文等の一覧は、下記「OPS2 対象予定」欄に※印を付けています（選択は本 OPS のテーマに関係するかどうかという観点から行っており、論文等の質とは関係ありません）。

なお、発表論文等タイトルに付けられた番号は、ポスター掲示用パネル番号と対応しています。

## 発表方法に関する注意事項

以下に示す時間帯は、必ずポスターの説明を行ってください。それ以外の時間については、ご自身のポスターを説明されるか、他の発表者との意見交換に活用されるかを自由に選択することができます。

- ・ 奇数番号の論文等発表者・・・前半 60 分 (13：30～14：30)
- ・ 偶数番号の論文等発表者・・・後半 60 分 (14：00～15：00)

PS2 発表論文等タイトル及び発表者所属・氏名	OPS2 対象予定	論文集 目次分類	論文集 ページ
1) 流域地質特性に着目したダム下流の底質形成過程の解明 東京大学大学院工学系研究科 須川遼		流砂系管理	71
2) 軟岩上の限界掃流力と軟岩の洗掘速度に関する実験 (株) 開発工営社 井上卓也		河道整備・管理	77
3) 河道設計のための基本は何か-水面形時系列観測値と洪水流-土砂流の解析を組み合わせた河道水理システムとその見える化 中央大学研究開発機構 福岡捷二	※	河道整備・管理	83
4) 急流河川泉川の多自然川づくりの報告 山梨県県土整備部 川口茂	※	河道整備・管理	89
5) 利根川下流部河道改修の変遷と浚渫の効果 国土交通省関東地方整備局利根川下流河川事務所 茂呂康治		河道整備・管理	101
6) ステップを形成する大礫堆の実態とその河川の特徴 宇都宮大学名誉教授 河相工学研究堂 須賀如川		河道整備・管理	107
7) 沖積地の安定な流路幅に関する既往研究の総説の試み (株) オリエンタルコンサルタンツ GC 事業本部 井上和則	※	河道整備・管理	113
8) 河幅及び断面形状を考慮した掃流砂量式を用いた河床変動解析-石狩川河口部昭和 56 年 8 月洪水を例として- 中央大学大学院理工学研究科 岡村誠司		河道整備・管理	119
9) 複断面河道における低水路幅の違いが砂州物理環境および魚類生息環境へ及ぼす影響 名城大学大学院理工学研究科 青木一展		河道整備・管理	125
10) 河床構造に着目した山地河川のサブセグメント区分と河床材料粒径の規定要因 東京大学大学院工学系研究科 三國谷隆伸		河道整備・管理	131

PS2 発表論文等タイトル及び発表者所属・氏名	OPS2 対象予定	論文集 目次分類	論文集 ページ
11) 北川の大規模河川改修が川坂地区の砂州地形と流況に及ぼす影響 佐賀大学大学院 小南考輝	※	河道整備・管理	143
12) 連続水制を有する急流石礫河道札内川の洪水時の流れ・土砂動態に関する研究 中央大学研究開発機構 長田健吾		河道整備・管理	149
13) 細粒土砂堆積による高水敷形成現象を1次元河床変動計算に組み込んだ河積変化予測手法 国土交通省国土技術政策総合研究所河川研究部 武内慶了	※	河道整備・管理	161
14) モルタルで擬似した軟岩の流砂の衝突による洗掘 北見工業大学社会環境工学科 渡邊康玄		河道整備・管理	167
15) 複断面河道に形成された河岸干潟の底質環境と浸透特性に関する研究 北見工業大学 駒井克昭		ハビタット整備・管理	173
16) 山地河道に見られるステップ・プール構造の形態とその規定要因に関する研究 東京大学大学院工学系研究科 片山芙美恵		ハビタット整備・管理	179
17) 山地河川の露岩化した河床における砂礫堆回復に関する実験的研究 (独)土木研究所河川生態チーム 小林草平		ハビタット整備・管理	191
18) 流速の増大がオイカワによる水際の緩流域利用頻度に及ぼす影響 (独)土木研究所水環境研究グループ自然共生研究センター 小野田幸生		ハビタット整備・管理	197
19) 強混合型河川感潮域での河岸ガタ土堆積と水際植生管理に関する研究 佐賀大学低平地沿岸海域研究センター 山西博幸		河川植生管理	203
20) 砂礫州における生物多様度と相関性の高い洪水攪乱指標について 埼玉大学大学院 田中規夫	※	河川植生管理	227
21) 出水時における河川内草本類の破壊条件に関する基礎的研究 東京大学大学院新領域創成科学研究科 加茂川優紀		河川植生管理	239
22) 開発途上国の未改修河川でのコーズウエーと潜り橋の実用性に関する現地資料に基づく考察 八千代エンジニアリング(株)国際事業本部 横倉順治		構造物設計・管理/ダム操作法	293
23) 2Way 河道の自律的な維持を可能にする分流堰高に関する検討 (独)土木研究所寒地土木研究所寒地河川チーム 永多朋紀		構造物設計・管理/ダム操作法	323
24) 板櫃川で実施された多自然川づくりの魚類生息環境からみた評価 九州大学大学院工学部 高比良光治	※	環境評価/環境施策評価	395
25) 河床材料の鉛直構造分析を用いた浅川中流域の河床環境評価 東京大学大学院工学系研究科 伊藤悠		環境評価/環境施策評価	401
26) 印旛沼での建設工事に伴う代替処置としてのヨシ回復元手法の検討 千葉県北千葉道路建設事務所 鈴木伸宏		自然環境保全・再生手法	479
27) 国内外における河川再生事例の情報整備の現状及びその共有と活用に向けた検討 (株)建設技術研究所国土文化研究所 和田彰		自然環境保全・再生手法	485
28) コンクリート三面張り河川における河川生物の生息場所再生に関する技術検討 京都大学大学院工学研究科 久加朋子		自然環境保全・再生手法	503
29) 遠賀川中島自然再生における湿地再生と地域参加 国土交通省九州地方整備局遠賀川河川事務所 柴田みゆき	※	事業効果/マネージメント	529

## ポスターセッション3 (PS3) / オーガナイズドポスターセッション3 (OPS3)

日 時：2011年7月24日(日)

9：30～11：00・・・ポスターセッション3 (以下、PS3)

11：10～12：20・・・オーガナイズドポスターセッション3 (以下、OPS3)

テ ー マ：「堤防の安全性に関する技術の課題」

企画・進行：堤防等河川構造物WG

「OPS3」では、PS3の発表内容から、共通して議論できる・すべき上記テーマを設定し、関係するPS発表者とOPSオーガナイザーが、発表論文等をベースに、当該分野の研究状況、今後の発展の方向について意見・情報交換を行います。この中では、地盤工学から見た堤防について愛媛大学 岡村未対教授から、水工学から見た堤防について京都大学 中川一教授からお話しをいただき、議論の枠を広げていきます。

PS3の発表論文の中で、本OPSでの議論の対象になりうると想定した論文等の一覧は、下記「OPS3対象予定」欄に※印を付けています(選択は本OPSのテーマに関係するかどうかという観点から行っており、論文等の質とは関係ありません)。

なお、発表論文等タイトルに付けられた番号は、ポスター掲示用パネル番号と対応しています。

## 発表方法に関する注意事項

以下に示す時間帯は、必ずポスターの説明を行ってください。それ以外の時間については、ご自身のポスターを説明されるか、他の発表者との意見交換に活用されるかを自由に選択することができます。

- ・ 奇数番号の論文等発表者・・・前半60分(9：30～10：30)
- ・ 偶数番号の論文等発表者・・・後半60分(10：00～11：00)

PS3 発表論文等タイトル及び発表者所属・氏名	OPS3 対象予定	論文集 目次分類	論文集 ページ
1) Xバンドレーダを用いた天竜川河口域の出水による地形変化の観測 筑波大学大学院システム情報工学研究科 武若聡		現場計測・調査・モニタリング	1
2) 河川の掃流砂量の測定と掃流砂量観測技術・評価技術に関する研究 (前)国土交通省北陸地方整備局富山河川国道事務所 曾山和宏		現場計測・調査・モニタリング	5
3) 出水時における土粒子の粒度分析に関する比較研究 (独)土木研究所水工研究グループ 海野仁		現場計測・調査・モニタリング	17
4) 力学的内外挿法(DIEX法)に基づく「点」から「面」流速データ推定法の構築 パシフィックコンサルタンツ(株) 柏田仁		現場計測・調査・モニタリング	23
5) 簡易型システムによる橋脚周辺および発生源における流木挙動の観測調査 (独)土木研究所寒地土木研究所 赤堀良介		現場計測・調査・モニタリング	29
6) 外部コンパスを併用したADCP観測に関する提案 (独)土木研究所水災害・リスクマネジメント国際センター 萬矢敦啓		現場計測・調査・モニタリング	35
7) 十勝川千代田実験水路における各手法別の流量観測 (独)土木研究所寒地土木研究所道東支所 稲垣達弘		現場計測・調査・モニタリング	41
8) 斜め画像を使った河床粒度分布調査における撮影俯角推定技術と精度検証 岐阜大学工学部社会基盤工学科 大橋慶介		現場計測・調査・モニタリング	47
9) 混合粒径からなる砂州と河川横断構造物周辺の河床変動解析法に関する研究 東京都建設局第一建設事務所 忠津哲也		河道整備・管理	95
10) 2次元不定流解析における植生倒伏モデルの改良とフラッシュ放流への適用 パシフィックコンサルタンツ(株) 吉武央気		河川植生管理	221



PS3 発表論文等タイトル及び発表者所属・氏名	OPS3 対象予定	論文集 目次分類	論文集 ページ
11) RELATIONSHIP BETWEEN EARTHQUAKE DAMAGE TYPES OF LEVEES AND SEISMIC CHARACTERISTICS OF THEIR FOUNDATION MLIT Hokuriku Regional Development Bureau Toshihide SUGIMOTO	※	堤防技術	257
12) 千代田実験水路における越水破堤拡幅メカニズム (独) 土木研究所寒地土木研究所寒地河川チーム 島田友典	※	堤防技術	263
13) 越水に対する堤防強化のための小型堤防による越流侵食実験 (株) ニュージェック 與田敏昭	※	堤防技術	269
14) 河川堤防の浸透対策に関する現地モニタリングと三次元浸透流解析 (独) 土木研究所地質・地盤研究グループ 増山博之	※	堤防技術	275
15) 砂質土堤防の浸透による破壊形態と土質定数に関する大型模型実験 (独) 土木研究所地質・地盤研究グループ 齋藤由紀子	※	堤防技術	281
16) ダム機能向上のための流域貯留量の定量化 (財) 日本気象協会北海道支社 臼谷友秀		構造物設計・管理/ダム操作法	299
17) 流砂による河川構造物の耐摩耗性材料に関する研究 徳倉建設(株) 三ツ井達也		構造物設計・管理/ダム操作法	305
18) 大規模実験による潜行吸引式排砂管の開発 (独) 土木研究所水工研究グループ 櫻井寿之		構造物設計・管理/ダム操作法	311
19) 流水型ダム群の洪水制御効果に関する研究 九州大学大学院工学研究院 押川英夫		構造物設計・管理/ダム操作法	317
20) 多摩川水系における河川横断構造物の予防保全に向けての具体的検討 国土交通省関東地方整備局京浜河川事務所 下條康之		構造物設計・管理/ダム操作法	329
21) EXPERIMENTAL INVESTIGATION OF CHANNEL RESPONSES AGAINST DIFFERENT CONFIGURATIONS OF GROYNES Graduate School of Engineering, Nagoya University Mohammed ALAUDDIN		構造物設計・管理/ダム操作法	335
22) 洪水時での流木流下特性と流水型ダム貯水地内における流木集積状況 北見工業大学大学院 木村祐輔		構造物設計・管理/ダム操作法	341
23) 樹林帯と堤内地盤高が越水氾濫流量に及ぼす影響 九州工業大学大学院工学府 松田健介		洪水・津波・河水等の水理制御	347
24) 越水による鉄道盛土の流失機構に関する実験的研究 広島大学大学院 上田康弘	※	治水・減災技術施策/水害リスク	449
25) ドジョウの魚道遡上に刺激を与える物理環境条件の実験的検証 — 時間を限定した魚道運用のために— 九州大学大学院工学研究院 山下奉海		自然環境保全・再生手法	491
26) ネコヤナギによる既設コンクリート護岸の緑化工法の実河川への適用 松本技術コンサルタント(株) 技術顧問 帆足建八		自然環境保全・再生手法	497
27) アミノ酸混和コンクリートによる付着藻類の生長特性及びアユの蝸集効果に関する研究 日建工学(株) 技術部 川島大助		自然環境保全・再生手法	509
28) 霞ヶ浦における沈水植物移植生育実験 (独) 土木研究所 大寄真弓		自然環境保全・再生手法	519
29) 現場での実践を通して河道管理技術を向上させる先駆的取り組み 国土交通省国土技術政策総合研究所河川研究部 服部敦		事業効果/マネジメント	539